

事業報告

昨年度は、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の蔓延により、引き続き、経済活動が制限された一年でした。センターの令和3年度の事業実績においては、会員数が1,017人、受託事業の契約額が307,913,358円となり、また一方で派遣事業は34,694,244円となり、受託事業、派遣事業を合わせると前年比約2.8%の減となりました。

コロナ禍の影響による民間事業所の受注減があった一方で、受託事業から労働者派遣事業に一部シフトした業務もあり、受注環境が若干、変わってきております。

雇用情勢においては、「高年齢者雇用安定法の改正」により、65歳までの雇用義務や70歳までの雇いが努力義務となり、我が国の働く社会環境も変わってきております。また、最低賃金は毎年3%ずつ上がってきており、石川県の最低賃金は時給861円まで上がってきており、最近の物価高とも相まって、発注者への価格転嫁も課題となってきているところであります。そうした中でも、センターの事業においては、引き続き、就業による人手不足分野の解消などが地域や経済社会を維持するための社会の担い手としても期待されているところであります。

また、高齢者の社会参加の受け皿としての機能も果たすため、社会参加を希望する高齢者にサークル活動やボランティア作業の実施、技能・知識取得講習会及び会員の互助活動にも活発に推進しているところであります。

以下、事業内容の詳細については、次のとおり報告いたします。

1. 事業実績

(受託事業・派遣事業)

	区分	令和3年度	令和2年度	増減
受託件数	受託事業	5,680件	5,941件	261件減
	派遣事業	36件	25件	11件増
就業延人員	受託事業	66,213人日	68,369人日	2,153人日減
	派遣事業	6,070人日	5,231人日	839人日増
契約金額	受託事業	307,913,358円	328,510,204円	20,596,846円減
	派遣事業	34,694,244円	23,996,109円	10,698,135円増
会員数		1,017人	1,054人	37人減
年間就業率		61.2%	58.7%	2.5ポイント増

2. 会員状況

(1) 会員数 1,017人

R4.3.31 現在 (単位:人)

	全会員数	本所	鹿北支所
男性	494	346	148
女性	523	410	113
合計	1,017	756	261

(2) 会員の年齢別構成

	総数	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男性	494	0	23	76	182	118	95	74.7
女性	523	0	19	85	202	131	86	74.5
合計	1,017	0	42	161	384	249	181	74.6
比率	100.0%	0.0%	4.1%	15.8%	37.8%	24.5%	17.8%	

最高年齢 男性 91歳

女性 94歳

3. 事業実施報告

会員の運営参画による「自主・自立・共働・共助」を基本として、専門部会（理事及び地区班長、会員）による事業活動を展開してまいりました。

以下、専門部会・委員会の活動結果を報告いたします。

(1) 技能取得・向上講習会の推進(能力開発部会)

① 石川県シルバー人材センター連合会が主催の講習

高齢者活躍人材育成事業

- ・剪定講習 13名
- ・ドローン講習 11名
- ・生活援助サービス講習 8名
- ・整理収納講習 11名

センター支援講習

- ・庭木手入れ後継者育成講習 16名
- ・刈払機取扱作業安全衛生教育 16名

② 七尾市シルバー人材センターが主催の研修、講習

- 4月 スマートフォン講習 10名
- 6月 スマートフォン講習 20名
- 7月 障子張り替え講習 4名
- 11月 スマートフォン講習 8名
- 12月 切り絵 34名・ミニ門松づくり 13名
- 2月 スマートフォン講習 7名

(2) 普及啓発活動の推進（普及啓発部会）

- ① 会員宛に「シルバー便り」を毎月発行し、各種講習や行事等及び求人情報を記載し、事務局と会員との連絡を密にした。
- ② センター事業がより一層理解されるよう、地域情報紙「こみみかわら版」で年4回センター事業などを紹介し普及啓発に努めた。
- ③ ホームページや Facebook（フェイスブック）を毎月更新し、センター紹介や毎月の事業を掲載した。
- ④ 普及啓発用パンフレット等を機会あるごとに配布し普及啓発に努めた。
- ⑤ 普及啓発活動の一環として、ボランティア清掃作業を能登演劇堂で実施し普及啓発に努めた。参加者は計16名。
- ⑥ センター独自の新年カレンダー（400部）を作成し、市内事業所や公民館、一般家庭等に配布し、普及啓発及び就業拡大に努めた。
- ⑦ 新聞等あらゆる機会を通じて事業内容や活動状況を掲載依頼した。
- ⑧ 七尾市広報の有料枠を年間通して購入し、事業内容やイベントなど毎月掲載した。
- ⑨ 普及啓発と就業拡大の一環として「ふれあい市」を毎月第二日曜日に開催し、不用品やリサイクル品、野菜等農産物の販売や会員手作り品を展示・販売した。
- ⑩ 毎週火曜日ラジオななお「もしもし探検隊」にゲスト出演し広報活動を行った。

(3) 会員確保の推進（会員拡大部会）

- ① シルバー便り等で会員1人が1人紹介を推進する「ロコミ」運動を実施した。また会員1人紹介で500円の謝金制度利用し、会員確保拡大に努めた。
(会員の紹介による入会者12名)
- ② 請負、派遣を希望する方を中心に会員確保した。またリサイクル事業や不用品処分に就業する会員及び委託販売（農産物、手作り品等）希望者の拡大、そしてサークルや旅行といった仲間づくりを希望する会員拡大に努めた。
- ③ 会員拡大部員による就業・入会相談員を2名配置し（本所：毎週水曜日の午前中）、入会や就業相談を行い、会員の入会促進に努めた。
- ④ 未入会員に入会を勧める技能講習（高齢者活躍人材育成事業）より入会を勧めた。入会者21名

(4) 就業機会の確保、拡大の推進（就業開拓部会）

- ① 七尾市広報枠を毎月利用し、仕事受注依頼を掲載し就業拡大に努めた。
- ② 過去3年利用（剪定・除草・草刈）された方へ往復ハガキでの注文取りを行い、成果を得た。2,764件送付。

- ③ 会員の仕事紹介 1 件で 200 円の謝金制度（就業紹介制度）を活発化し、就業の拡大に努めた。（就業紹介 30 件）
- ④ 一般家庭の不用品処分やリサイクル品回収の事業拡大のため、ゴミカレンダーやゴミ分別冊子にリサイクル事業を掲載し仕事の開拓拡大に努めた。
- ⑤ 発注者からの求人情報を毎月のシルバー便りに掲載し、就業の拡大に努めた。
- ⑥ ホームページによる仕事の紹介や「仕事申込フォーム」での就業拡大に努めた。
- ⑦ 空き家管理をホームページに掲載し、報告書作成などを市外利用者に案内した。

(5) 安全就業対策の推進（安全・適正就業委員会）

①安全講習会の実施

安全意識の向上のため、安全運転講習会を実施した。

- ② 作業用具の確認や安全用具の点検整備及び補充に努めた。ポイズンリムーバー、蜂刺され防護ネットを購入し、就業の現場での蜂刺され対策に努めた。
- ③ 就業事故多発につき、事故防止打合せ会や職群班会議を開催し、就業事故の当事者を交えて意見交換を行った。
- ④ 会員の就業現地へのパトロールを実施した。年間 7 回
- ⑤ 健康管理や安全意識の向上についてシルバー便り等を通じて啓蒙した。また、優良運転者の表彰推薦を行った。被表彰者は下記のとおり。
 - ・七尾鹿島交通安全の集い 平野作次（和倉町） 東 昇一（藤橋町）
 - ・石川県交通安全県民大会 白瀬政一（田鶴浜町）
- ⑥ 運転派遣会員に健康診断料 500 円の助成を行った。

(6) 独自事業（リサイクル）の推進

アンテナショップ（リボン店、看板婆・ショップお宝、鹿北店、ゆずりあい館）でリサイクル品販売や委託販売、喫茶、軽食等の独自事業を行った。また、旧御祓中学校の体育館を、門松作業やリサイクル家具倉庫として利用した。

毎月第二日曜を「ふれあい市」とし、ワークパル七尾でリサイクル品や野菜等の販売をした。また、中島菜の漬物やこだわり味噌の製作販売をした。

正月用品（しめ縄、輪飾り、ほうらい）や玄関用門松の製作販売を行った。

事業実績がショップ関連、門松等で 20,720,137 円、就業延人員 10,257 人日となった。

(7) 高齢者活用・現役世代サポート事業と基盤拡大事業の推進

サポート係を雇用し、人手不足が懸念される分野の解消に、シルバー人材センター会員が就業機会を得られるよう就業ニーズに応じた民間企業、一般家庭の就業機会の掘り起しに努めた。

(8) 七尾市勤労者総合福祉センターの運営管理

- ① 市より無償貸付されている七尾市勤労者総合福祉センター（愛称：ワークパル七尾）の運営管理は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少し、収支は減益になっているが、適正な運営管理に努めた。

利用者件数は 802 件で利用者数は 24,121 人となった。

- ② 会員の「学び・集いの場」として、定時総会、各種講習会場、サークル、ゆずりあい市の会場として利用した。

(9) 役職員等の研修の推進

理事会を毎月開催し、シルバー事業の運営について積極的に審議した。先進地視察については、新型コロナウイルス感染症を考慮し、研修の機会を見合わせた。

職員の知識・能力向上のため職員の研修会、WEB 会議等に参加させた。

(10) 設立 40 周年記念事業の推進

設立 40 周年を迎え、10 月に設立 40 周年記念事業を開催した。また 40 周年記念事業を冠とした事業として、鹿北支所のふれいあいの集いや普及啓発ボランティアを実施した。